

NEC

MultiCoder 502L3D-98 シリーズ

ユーザーズマニュアル



853-811095-001-A

3版

商標について

NEC、NECロゴは日本電気株式会社の登録商標です。

MultiCoderはNECエンベデッドプロダクツ株式会社の登録商標です。

PrinterSignalStationはNECソフト株式会社の登録商標です。

BarStar、LabelStarはアイニックス株式会社の登録商標です。

DynaFontはDynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IBM、ATIは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Windows 7はMicrosoft Windows 7 Ultimate operating system およびMicrosoft Windows 7 Enterprise operating system、Microsoft Windows 7 Business operating system、Microsoft Windows 7 Home Premium operating system、Microsoft Windows 7 Starter operating systemの略です。

Windows Vista はMicrosoft Windows Vista Ultimate operating system およびMicrosoft Windows Vista Enterprise operating system、Microsoft Windows Vista Business operating system、Microsoft Windows Vista Home Premium operating system、Microsoft Windows Vista Home Basic operating systemの略です。

Windows XP はMicrosoft Windows XP Home Edition operating system およびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。

Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating system の略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。

Windows Server 2003 はMicrosoft Windows Server 2003 operating system、Standard Edition およびMicrosoft Windows Server 2003 operating system、Enterprise Edition、Microsoft Windows Server 2003 R2 operating system、Standard Edition およびMicrosoft Windows Server 2003 R2 operating system、Enterprise Editionの略です。

Windows Server 2008は、Microsoft Windows Server 2008 operating system、Standard およびMicrosoft Windows Server 2008 operating system、Enterpriseの略です。

Windows Server 2008 R2は、Microsoft Windows Server 2008 R2 operating system、StandardおよびMicrosoft Windows Server 2008 R2 operating system、Enterpriseの略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのラベルプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本マニュアルは複写感熱プリンター MultiCoder 502L3D-98シリーズ（以降、「本プリンター」と呼びます。）

について、別冊の「MultiCoder 502Lシリーズ ラベルプリンター ユーザーズマニュアル」

（853-810932-011-A）および添付のソフトウェアCD-ROMに収録されている「MultiCoder 502Lシリーズ ラベルプリンター オンラインマニュアル」（853-810932-013-A）に記載されていない補足事項を説明しています。なお、本マニュアルを読む前に品名を以下のとおりに読み替えて別冊の「MultiCoder 502Lシリーズ ラベルプリンター ユーザーズマニュアル」を良くお読みください。

- MultiCoder 502L3D → MultiCoder502L3D-98
- MultiCoder 502L3DL → MultiCoder502L3DL-98

目次

箱の中身を確認する	4
別売品	5
オプション	5
消耗部品	5
主な用紙一覧	6
用紙をセットする	7
ソフトウェアをインストールする	9
印刷の詳細設定（プリンタードライバー）	9
[詳細オプション] ダイアログボックス	9
ディップスイッチ	12
ボリューム	15
リモートパネル	16
仕様	18
清掃	20
マニュアルを紛失された場合について	20

箱の中身を確認する

箱を開けて、次のものが入っていることを確認してください。万一足りないものや破損しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

— チェック —

梱包材（箱や緩衝材など）はプリンターを運搬するときに必要となりますので、保管しておいてください。

- ・プリンタ本体
- ・電源コード*1
- ・ACアダプター
- ・センターリブ
- ・変換プラグ
- ・ケーブルロック
- ・ヘッドクリーナー
- ・調整ドライバー
- ・USBケーブル
- ・テスト用紙（感熱紙）
- ・MultiCoder 502L3D-98 シリーズ ユーザーズマニュアル（本マニュアル）
- ・MultiCoder 502L シリーズ ユーザーズマニュアル
- ・ソフトウェアCD-ROM*2
- ・保証書
- ・ソフトウェアのご使用条件
- ・NECサービス網一覧

— USB+LANモデルのみ添付 —

- ・プリントサーバーソフトウェアCD-ROM（オンラインマニュアル収録）
- ・セットアップガイド

*1 本プリンター以外の用途には絶対にご使用にならないでください。

*2 CD-ROM には、プリンタードライバーおよび「リモートパネル」「PrinterSignalStation for ラベルプリンタ」「LabelStar Lite」「BarStar Pro」のソフトウェアとオンラインマニュアル他が収録されています。

別売品

ご購入にあたりましては、お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

オプション

オプションの取り付け手順などの詳細については、オプションに添付の説明書またはソフトウェアCD-ROMに収録されている「MultiCoder 502Lシリーズ ラベルプリンター オンラインマニュアル」を参照してください。

オプションのプリントサーバー（LANボード）の取り付け／取り外しをお客様ご自身で行わない場合はお買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。有償で対応します。

品名	説明
PR-NP-08 プリントサーバー（LANボード）	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース。TCP/IPのプロトコルに対応したプリンター内蔵型のプリントサーバーです。
PR-T500L-04 ペーパーテーブル（L）	ファンフォールド紙を送るときや接続しているケーブルを保護するための部品です。

消耗部品

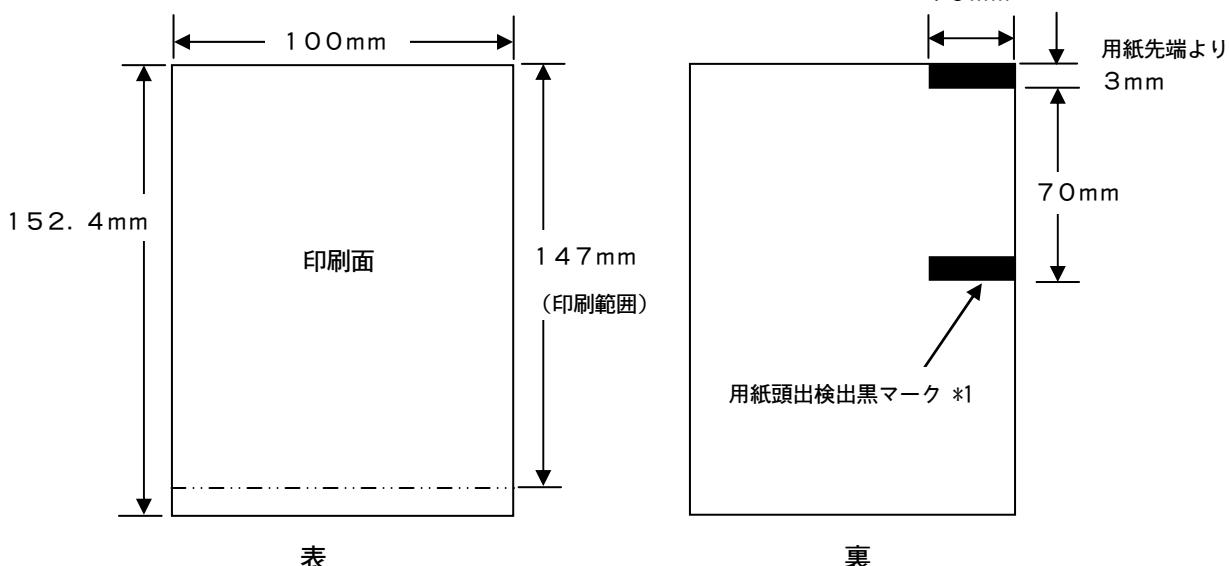
品名	説明
PR-T500M3-TC01 ヘッドクリーナー	本プリンターのサーマルヘッドを清掃するためのペンです。プリンターに1本標準で添付されています。
PR-T502L3-TH98 サーマルヘッドブロック（W）-98	印刷するための機構部品です。
PR-T502L3-PB98 プラテンブロック（W）-98	用紙の押さえと用紙送りをする機構部品です。

主な用紙一覧

・複写感熱用紙（秘匿感熱はがき）

品名	説明
PR-T500-SWAH001 秘匿感熱はがき SWAH001	感熱紙にハクリ可能な情報保護紙が圧着された秘匿感熱はがきです。 ファンフォールド 2,000枚、8束（250枚/束）、1箱
PR-T500-SWAH301 秘匿感熱はがき SWAH301	感熱紙にハクリ可能な情報保護紙が圧着された秘匿感熱はがきです。 ファンフォールド 10,000枚、40束（250枚/束）、5箱
PR-T500-SWAH501 秘匿感熱はがき SWAH501	感熱紙にハクリ可能な情報保護紙が圧着された秘匿感熱はがきです。 ファンフォールド 20,000枚、80束（250枚/束）、10箱

○秘匿感熱はがきの規格と注意事項



<秘匿感熱はがき印刷時のご注意>

- ①ご使用環境は温度 20~30°C、湿度 60%RH 程度またはそれ以下を推奨いたします。
- ②印刷される文字は、ゴシック体の 10 ポイント以上を推奨いたします。
- ③バーコード／カスタマバーコード／2 次元コードを使用する際は、十分な読み取り評価を行って確認してからご使用ください。なお、QR Code は 1 セル 5 ドット以上を推奨いたします。
- ④印刷速度は、50.8 mm/秒 (2ips)、濃度は、+7 以上を推奨いたします。

*1：用紙頭出検出機能に必要な黒マークです。

用紙頭出検出黒マークがある用紙を使用する場合は、装置前面の DIP SW2 を OFF にしてください。

また、DIP SW6/SW7 にて反射センサーを選択し DIP SW8 で有効にするか、プリンタードライバーで反射センサーを選択してください。

用紙頭出検出黒マークが無い用紙をご使用になる場合は、装置前面の DIP SW2 を ON にしてご使用ください。

・一般感熱紙

一般感熱紙の規格については、ソフトウェア CD-ROM に収録されている「MultiCoder 502L シリーズ ラベルプリンター オンラインマニュアル」を参照してください。

なお、一般感熱紙をご使用の場合、印刷濃度が濃くなる場合がありますので、十分な印刷評価を行って確認してからご使用ください。

用紙をセットする

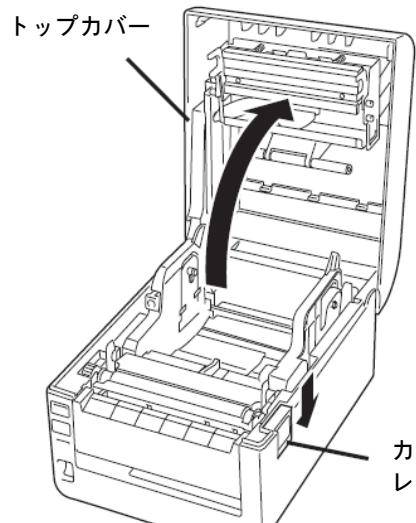


注意

- ・トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- ・トップカバーを開けたときプリンター背面とトップカバーの隙間に指を挟まないように注意してください。
- ・印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- ・左右のロックプレートやトップカバー左端の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがや本体の破損の原因となるおそれがあります。

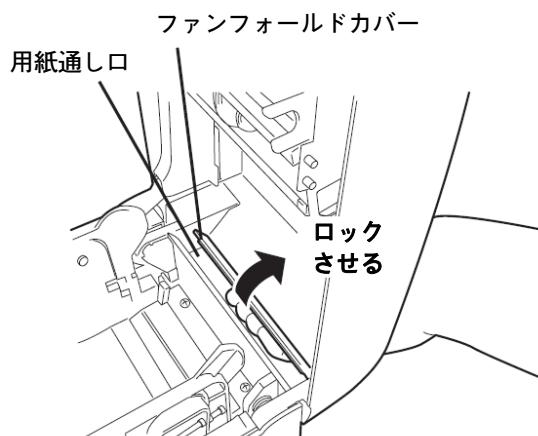
ここでは「用紙頭出検出機能」(12ページ参照)が「有効」設定の場合の用紙セット方法について説明します。「用紙頭出検出機能」が「無効」設定の場合は、「MultiCoder 502L シリーズ ラベルプリンタ－ ユーザーズマニュアル」の1章8項「用紙をセットする」を参照して用紙をセットしてください。

①プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。

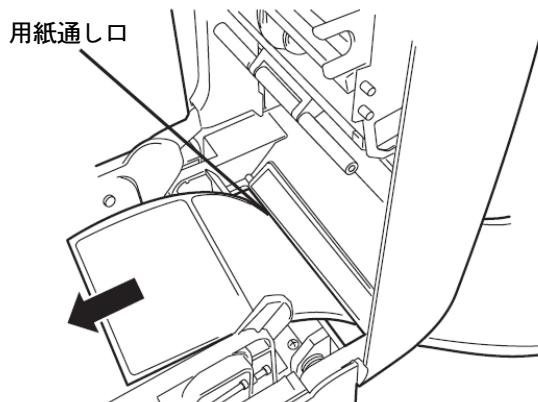


②カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。

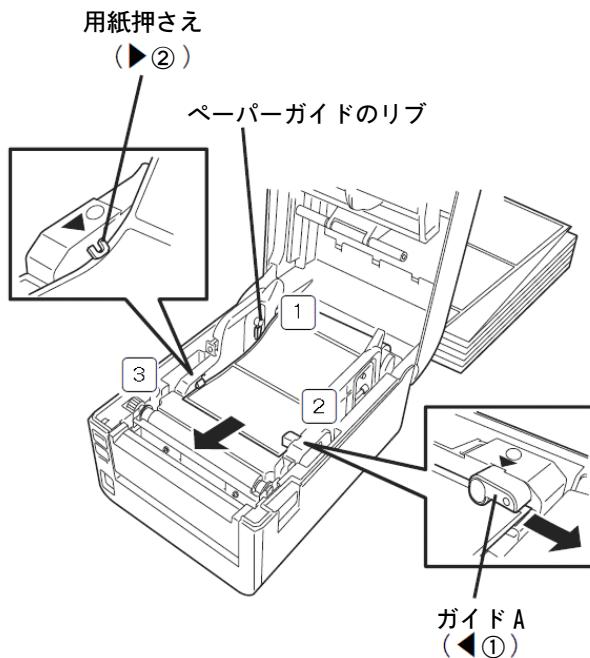
③プリンター背面から手を回してファンフォールドカバーを上に回転させ、ロックします。



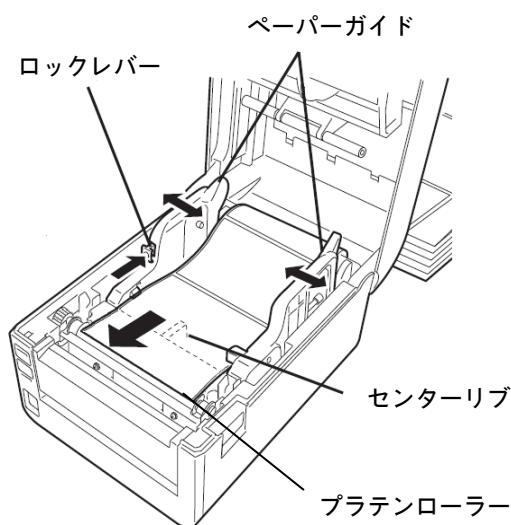
④印刷面を上にして、用紙をプリンター背面の用紙通し口から内部へ通します。



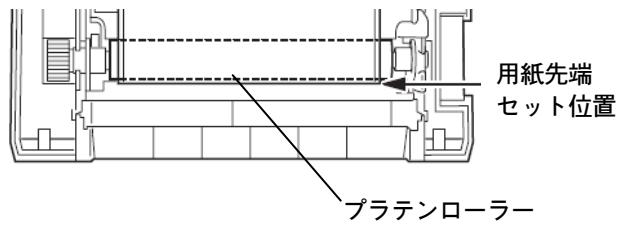
⑤左右のペーパーガイドの下にあるリブの下をくぐらせて(①)、ガイドA(①)の下を通した後(②)、用紙押さえ(②)の上から用紙を押して用紙押さえの下に用紙が通るようにセットします(③)。



⑥プラテンローラーが隠れる程度まで用紙を引き出し、ロックレバーを押しながらペーパーガイドを伸縮させ、用紙幅を調整します。



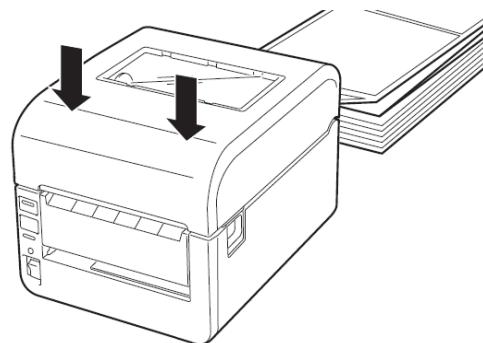
用紙はペーパーガイドに対して真っ直ぐになるようにセットしてください。用紙が斜めにセットされると印刷結果が斜めになる場合があります。



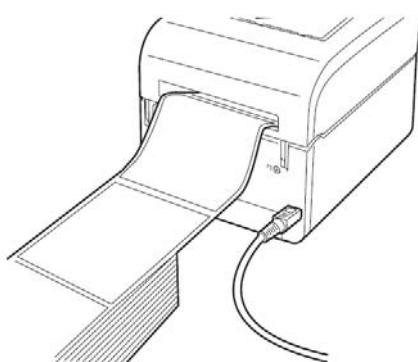
— チェック —

図の用紙先端セット位置よりも後側に用紙をセットすると、印刷する際にプラテンローラーから用紙が外れ、異音が発生する場合があります。異音が発生した場合は一度電源を切り、再度用紙のセットを行ってください。

⑦トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



⑧プリンター内のペーパーガイドに対してまっすぐになるように置きます。



以上で用紙セットは完了です。

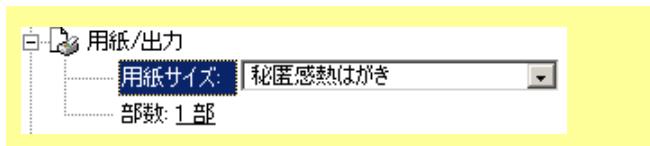
ソフトウェアをインストールする

本プリンターに添付しているソフトウェアCD-ROMを実行すると、「MultiCoder502L3D-98シリーズ」と表示されますが、操作は全て「MultiCoder 502Lシリーズ」と同じです。インストール方法や操作方法については、ユーザーズマニュアルまたはオンラインマニュアルを参照してください。

印刷の詳細設定（プリンタードライバー）

秘匿感熱はがきを印刷する際は、プリンタードライバーから印刷条件の設定を行ってください。

〔詳細オプション〕ダイアログボックス



用紙サイズ

印刷用紙のサイズを選択します。

本プリンターがサポートする用紙サイズについては、「MultiCoder 502L シリーズ ラベルプリンター オンラインマニュアル」の「用紙規格と印刷範囲」を参照してください。また複写用紙については、それぞれの用紙に添付の説明書を参照してください。

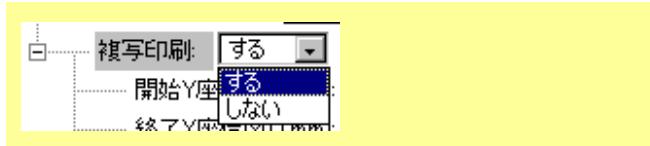


先頭用紙位置合わせ量

カバーを閉じた後の先頭用紙の位置合わせバックフィード量の調整値を設定します。

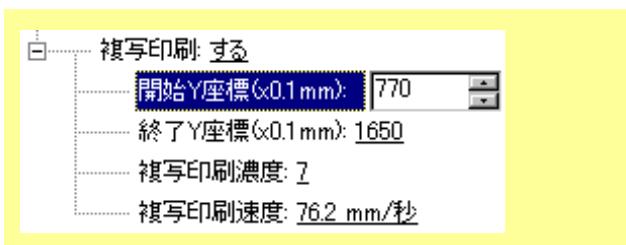
-150 (-15.0mm) ~0 (0mm) ~150 (15.0mm) の間を0.1mm単位で設定できます。

用紙頭出検出機能が有効な場合に使用します。2枚目以降の位置合わせはフィード量微調整にて行ってください。



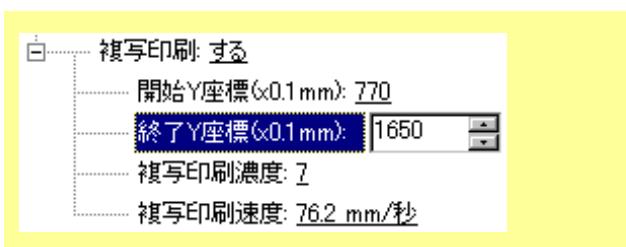
複写印刷

複写印刷をするかどうかを設定します。



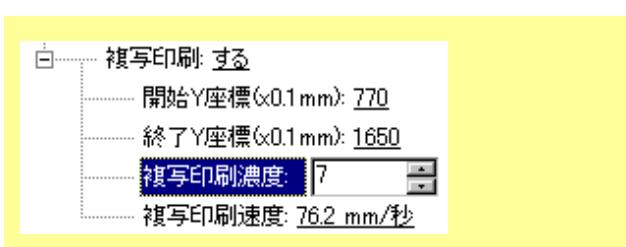
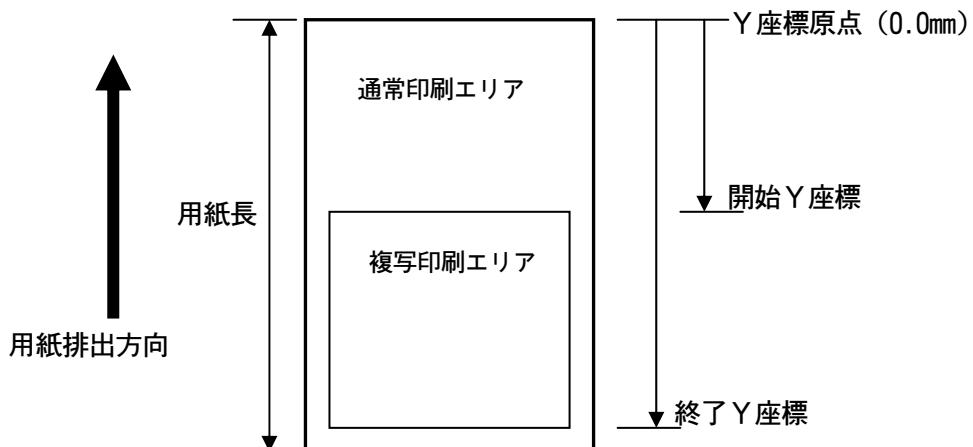
開始 Y 座標

複写印刷エリアの開始 Y 座標を設定します。
0 (0mm) ~9999 (999.9mm) の間を 0.1mm 単位
で設定できます。



終了 Y 座標

複写印刷エリアの終了 Y 座標を設定します。
0 (0mm) ~9999 (999.9mm) の間を 0.1mm 単位
で設定できます。終了 Y 座標は開始 Y 座標より
も大きな値を設定してください。また、用
紙長以下の値に設定してください。



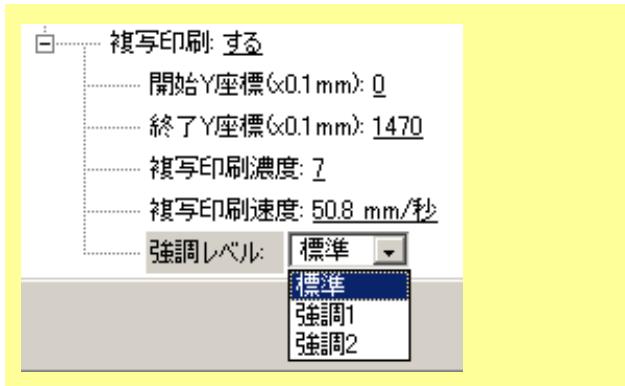
複写印刷濃度

複写印刷エリアの印刷濃度を 10~0~-10 の間
を 1 単位で設定できます。[10] を選択すると最
も濃く印刷され、[-10] を選択すると最も薄く
印刷されます。



複写印刷速度

複写印刷エリアの印刷速度を設定します。
50.8mm/秒・76.2mm/秒



強調レベル

複写印刷エリアの強調レベルを設定します。
複写の印刷が細い場合に設定してください。

標準 : 強調なし

強調1 : 縦に1ドット強調します。

強調2 : 縦と横に1ドットずつ強調します。

ディップスイッチ

本プリンターにはプリンターの機能を設定するディップスイッチ (DIP SW) があります。

「ディップスイッチ (DIP SW)」は10個の機械的なスイッチから構成されており、それぞれのスイッチには本プリンターの機能が割り当てられていて、1つのスイッチで切り替えをするものと複数のスイッチによるON/OFFの組み合わせで設定されるものがあります。

DIP SWの設定はお使いなる状態に正しく設定してください。また、それぞれの設定をするときにプリンタードライバーを使用する方法と使用しない方法がありますが、プリンタードライバーを使用する方法を推奨します。なお、秘匿感熱はがきの場合は、プリンタードライバーを使用してください。

重要

- ・ MultiCoder 502LシリーズとはDIP SW1／DIP SW2の機能が異なります。

チェック

- ・ DIP SWの設定を変更するときはプリンターの電源がOFFになっていることを確認してください。
- ・ DIP SWの設定を変更した場合は、プリンターの電源をONにした後に設定が有効となります。
- ・ 「未使用」の設定にしないでください。

スイッチ番号	機能			工場設定
1	未使用			OFF
2* ¹	用紙頭出検出機能の選択 OFF : 用紙頭出検出機能を有効とします。 ON : 用紙頭出検出機能を無効とします。			OFF
3* ²	印刷モードの選択			OFF
4* ²	DIP SW3	DIP SW4	モード	OFF
	OFF	OFF	連続印刷	OFF
	OFF	ON	未使用	
	ON	OFF	未使用	
	ON	ON	未使用	
5* ²	印刷方式 OFF : 感熱方式とします。 ON : 未使用			OFF

* 1 MultiCoder 502L3D-98シリーズ専用です。MultiCoder 502Lシリーズとは異なります。

用紙頭出検出黒マークがある用紙を使用する場合は、装置前面のDIP SW2をOFFにし、またDIP SW6/SW7にて反射センサーを選択しDIP SW8で有効にするか、プリンタードライバーで反射センサーを選択してください。
用紙頭出検出黒マークが無い用紙を使用する場合は、DIP SW2をONにしてください。

* 2 DIP SW8が“ON”的に機能します。DIP SW8はDIP SW3～SW7に割り当てられた3つの機能の有効／無効を切り替えるスイッチです。

DIP SW8がOFFの場合は、プリンタードライバーからの設定が有効になります。

スイッチ番号	機能			工場設定
6*2	用紙頭出しセンサーの選択			OFF
7*2	DIP SW6	DIP SW7	モード	OFF
	OFF	OFF	センサー無視	
	ON	OFF	反射センサー	
	OFF	ON	透過センサー	
	ON	ON	センサー無視	
8	プリンタードライバー設定の有効／無効 OFF： 設定を有効とします。 ON： 設定を無効とします。			OFF
9	調整値設定のリモートパネル／操作部ボリューム設定の切り替え OFF： リモートパネル設定を有効とします。 ON： 操作部ボリューム設定を有効とします。			OFF
10*3	プリントサーバー（LAN）装着時のインターフェースの切り替え OFF： プリントサーバーを有効とします（USBは無効とします）。 ON： プリンタ一本体のUSBを有効とします（プリントサーバーは無効とします）。			OFF

*2 DIP SW8が“ON”的場合に機能します。DIP SW8はDIP SW3～SW7に割り当てられた3つの機能の有効／無効を切り替えるスイッチです。

DIP SW8がOFFの場合は、プリンタードライバーからの設定が有効になります。

*3 プリンターにプリントサーバーを装着している場合に機能します。装着していない場合は、この設定に関わらず、常に本体USBで動作します。

DIP SW1 未使用

未使用のため変更しないでください。

DIP SW2 用紙頭出検出機能の選択

用紙頭出検出機能の有効・無効を切り替えます。^{*1}

出荷時の設定は「有効」です。

有効とした場合は、トップカバーを閉じた直後の印刷開始時に先頭用紙の頭出し動作を行います。

用紙頭出検出機能を有効として使用する場合は、必ずDIP SW6/SW7/SW8で「反射センサー」を設定するか、プリンタードライバーで「反射センサー」を設定してください。

また、用紙頭出検出黒マークが無い用紙を使用する場合は、DIP SW2をONにしてください。

*1 本機能は、リモートパネル「自動用紙先頭位置合わせ」を有効にすることによって機能します。

DIP SW3・SW4 印刷モードの選択

印刷モードを切り替えます。

出荷時の設定は「連続印刷」です。

連続印刷は印刷を途中で止めることなく連続して印刷します。

DIP SW5 印刷方式

本プリンターはON/OFFの設定に関わらず「感熱方式」で動作します。

DIP SW6・SW7 用紙頭出しセンサーの選択

用紙頭出しに使用するセンサーのタイプを選択します。出荷時の設定は「センサー無視（プリンタードライバーの設定値に従う）」です。センサー無視はどのセンサーも見ずにプリンタードライバーで設定した用紙長で用紙をフィードします。

反射センサーは用紙裏側に印刷されている黒マークを検出し、黒マークの位置を停止位置とするように用紙をフィードする方式です。DIP SW2で用紙頭出検出機能を有効とする場合は反射センサーを選択してください。

透過センサーはラベルギャップ（ラベルとラベルの間の台紙）を判断し、次のラベル位置を停止位置とするように用紙をフィードする方式です。

DIP SW8 プリンタードライバー設定の有効／無効

プリンタードライバーの設定を有効にするか無効にするかを切り替えます。

出荷時の設定は「有効」です。

「無効」の場合、印刷モード、印刷方式、用紙頭出しセンサーの選択はDIP SWの設定に従います。

DIP SW9 調整値設定のリモートパネル／操作部ボリューム設定の切り替え

リモートパネル設定を有効にするか、ボリューム設定を有効にするかを切り替えます。

出荷時の設定は「リモートパネル設定を有効」です。

OFFにした場合は、印刷濃度、フィード量微調整、カット位置微調整についてリモートパネル設定を有効にします（ボリューム設定は無効にします）。設定値は、リモートパネル設定値+プリンタードライバー設定値を足した値です。

ONに設定した場合は、印刷濃度、フィード量微調整、カット位置微調整についてボリューム設定を有効にします（リモートパネル設定は無効にします）。設定値は、操作部ボリューム設定値+プリンタードライバー設定値を足した値です。

DIP SW10 プリントサーバー装着時のインターフェースの切り替え

プリントサーバーをプリンター背面のインターフェースボード装着部（MultiCoder 502Lシリーズ ユーザーズマニュアル 1章3項「外観」参照）に装着時、プリンタ一本体側のUSBを有効にするか、プリントサーバーを有効にするかを切り替えます。

プリントサーバーを装着しているが、USB接続で使用したい場合に切り替えます。

出荷時の設定は「プリントサーバーが有効」です。

プリントサーバーが装着されていない場合は、本設定に関わらずUSBインターフェースで動作します。

ボリューム

本プリンターには「印刷濃度」「フィード量微調」「カット位置微調」を行う調整ボリュームがあります。

調整ボリュームの詳しい説明については「MultiCoder 502L シリーズ ラベルプリンター ユーザーズマニュアル」の2章「ボリューム」を参照してください。

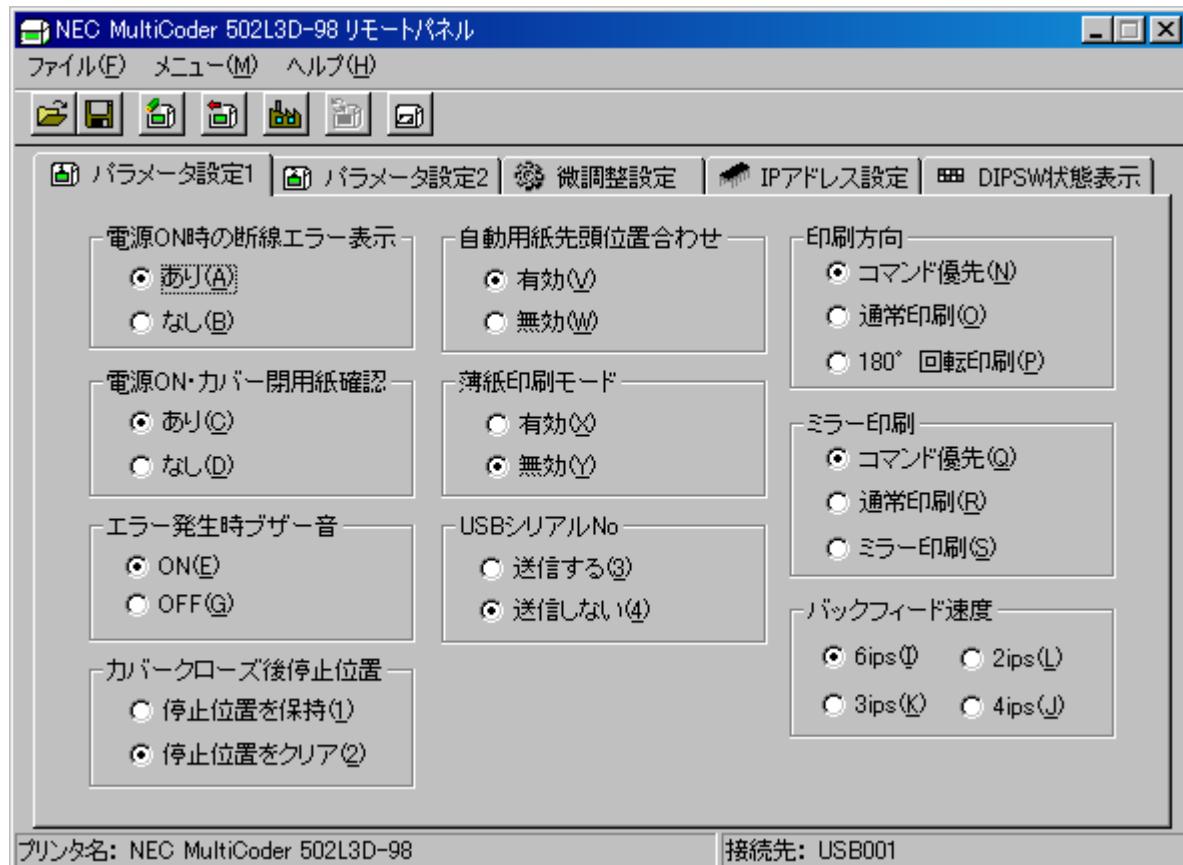
—— 重要 ——

- ・本プリンターでは、「カット位置微調」は無効です。
- ・本プリンターでは、ボリュームを使用した「印刷濃度」の調整は推奨致しません。
プリンタードライバーの印刷濃度で調整してください。

リモートパネル

ソフトウェアCD-ROMに収録されている「リモートパネル」ユーティリティは5つのプロパティシートでプリンター本体のスイッチでは設定できない機能に対する変更を行います。インストール方法および操作方法は、オンラインマニュアルの「リモートパネル」の章を参照してください。下表にリモートパネルで設定できる項目を一覧で示します。

<パラメータ1>



項目名	説明	既定値
[パラメータ設定1]		
電源ON時の断線エラー表示	電源ON時に自動で断線チェックをするかどうかを設定します。	あり
電源ON・カバー閉用紙確認	電源ON時、またはカバークローズ動作時に用紙の有無を確認するかどうかを切り替えます。	あり
エラー発生時ブザー音	エラーが発生したときにブザーを鳴らすかどうかを設定します。	ON (鳴らす)
カバークローズ後停止位置	用紙の停止位置を制御する方法を切り替えます。	停止位置をクリア
自動用紙先頭位置合わせ	自動用紙位置合わせをするかどうかを切り替えます。	有効
薄紙印刷モード	カット位置からの戻し動作を行うかどうかを切り替えます。	無効
USBシリアルNo	USBのシリアル番号を送信するかどうかを切り替えます。	送信しない
印刷方向	印刷の向きを切り替えます。	コマンド優先
ミラー印刷	ミラー印刷をするかどうかを切り替えます。	コマンド優先
バックフィード速度	用紙をプリンター内へ戻す(後ろに送る)バックフィードの速度(ips:インチ/秒)を切り替えます。	6ips

<パラメータ2>



項目名	説明	既定値
[パラメータ設定2]		
黒マーク検出時の頭出し制御	黒マークを検出する制御を切り替えます。	黒マーク下端
ゼロスラッシュ	半角の“0(ゼロ)”(JISコード0x30)に対して、スラッシュを付けて印刷するかどうかを切り替えます。	なし
プリンタ起動時の状態	電源投入時、本プリンターをオンライン状態で起動させるかオフライン状態で起動させるかを切り替えます。	オンライン
ページ制御	ページ制御をセンサー優先で行うか用紙長優先で行うかを切り替えます。	センサー優先
[FEED]スイッチによる印刷	オンライン状態で、[FEED]スイッチを押したときにフィード動作のみを行うか、再印刷を行うかを切り替えます。	(再印刷を)行わない
自動カット位置送り機能	自動カット位置送り機能の有効/無効を切り替えます。	有効 ^{*1}
自動カット位置戻し時間	自動カット位置から元の位置に戻す時間の長さを切り替えます。 印刷したラベルを取り出しやすくするために一旦用紙を排出口へ送ります。指定した時間を越えるとプリンターは次の印刷をするために用紙を印刷部へ引き戻します。 [無制限]に設定している場合は、次の印刷データを受信すると用紙を印刷部へ戻します。	無制限
パラレルI/F ACK幅変更 ^{*3}	パラレルインターフェース使用時、データ受信に対するACK応答の幅を指定します。	0.5 μsec
インプットプライム ^{*3}	パラレルインターフェース使用時、インプットプライム信号を受信した場合、本プリンターをリセットするかどうかを切り替えます。	無効
ステータス自動送信	ステータスの自動送信を行うかどうかを切り替えます。	無効 ^{*2}

*1 「連続印刷」を指定しているときのみ機能します

*2 プリントサーバー接続時に有効な機能です。

*3 本プリンターでは無効です。

仕様

項目		MultiCoder	
		502L3D-98	502L3DL-98
印刷方式		感熱方式（直接発色）	
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm (≈305 dpi)	
	発熱体ピッチ	0.0834mm	
	ドット総数	1296ドット	
印刷速度		通常印刷：50.8mm(2インチ)/秒、101.6mm(4インチ)/秒、152.4mm(6インチ)/秒 複写印刷：50.8mm(2インチ)/秒、76.2mm(3インチ)/秒	
フィード方向		順方向または逆方向	
バックフィード速度 (速度の切り替え可能)		50.8mm(2インチ)/秒、76.2mm(3インチ)/秒、 101.6mm(4インチ)/秒、152.4mm(6インチ)/秒	
印刷方法	連続印刷	標準で対応	
	カット印刷	非対応	
	ハクリ印刷	非対応	
給紙方式	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）*5	
	装置内セット	ロール紙（外巻き、内巻き）*1	
排紙方式		装置前面排紙のみ	
表示方式		7セグメントLED・ランプ(3個)	
ブザー		あり（設定により消音可）	
有効印刷幅		最大105.7mm	
用紙種類*2		複写感熱用紙（秘匿感熱はがき、他）、一般感熱紙	
複写感熱用紙対応 寸法	幅	28.0mm~118.0mm	
	長さ	100.0mm~254.0mm	
インターフェース *3	USB	USB 1.1/2.0 Full Speed 準拠USBインターフェース（通信速度：12Mbps、コネクター：USB Bタイプ）	
	LAN*4	—	IEEE802.3 準拠Ethernetインターフェース(10Base-T/100Base-TX)
コマンドインターフェース		NPL (NEC Label Printer Language) NECラベルプリンタ言語	
制御フォント		NECプリンタ制御フォント	

*1 ロール紙を使用する際は十分な評価を行って確認してからご使用ください。ロール紙を使用される場合は外巻きを推奨します。

*2 複写感熱用紙の印刷と保管は、各用紙の取扱説明書の環境下でご使用ください。

*3 プリントサーバー（LAN）とUSBは同時に使用できません。

*4 LANインターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

*5 複写感熱用紙はファンフォールド紙のみ提供します。

項目		MultiCoder	
		502L3D-98	502L3DL-98
内蔵フォント ^{*6}	1 バイト (半角) フォント	ゴシック体(アウトラインフォント)、明朝体(アウトラインフォント)、OCR-A(ビットマップフォント)、OCR-B(ビットマップフォント)	
	2 バイト (全角) フォント	ゴシック体(アウトラインフォント)、明朝体(アウトラインフォント) ※漢字コードはJIS90年度準拠	
内蔵バーコード ^{*7}	バーコード	JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add ON、ITF(Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5(Industrial 2 of 5)、NEC 2 of 5(COOP 2 of 5)、Code39、Code39 full ASCII、Codabar(NW7)、Code93、Code128、GS1-128(UCC/EAN-128)、GS1 Databar(RSS)、MSI/Plessey、カスタマバーコード	
	2 次元コード	PDF417、Micro PDF417、QR Code(モデル1&2)、DataMatrix、MaxiCode	
外形寸法		188 (W) × 245 (D) × 170 (H) mm	
質量 ^{*8}		約2.6kg	約2.8kg
消費電力	動作時最大 ^{*9}	137W(2.4A)	
	待機時	13W(0.3A)	
	省電力モード ^{*10}	8W(0.2A)	
製品寿命		5年	
温度範囲／湿度範囲		使用時：5～38°C 保管時：-25～60°C 複写印刷の推奨温度：20～30°C(使用時は室温に十分馴染ませてからご使用ください) 使用時：25～85%RH(ただし、結露しないこと) 保管時：0～90%RH(ただし、結露しないこと) 複写印刷の推奨湿度：60%RH程度またはそれ以下	
消耗部品		サーマルヘッドブロック(W)-98、 プラテンブロック(W)-98、 ヘッドクリーナー	
プリンタードライバー ^{*11}		Microsoft Windows 7 日本語版、 Microsoft Windows Vista 日本語版、 Microsoft Windows XP 日本語版、 Microsoft Windows Server 2008 日本語版、 Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版、 Microsoft Windows Server 2003 日本語版、 Microsoft Windows Server 2003 R2 日本語版、 Microsoft Windows 2000 日本語版	

*6 内蔵フォントとしてDynafontを使用しています。

*7 バーコード／2次元コードの生成にはBarStar Proの生成機能を使用しています。

*8 本体のみの質量です(用紙、ACアダプターを除く)。

*9 白黒の印刷ドット数比率が33%、印刷濃度 1P用紙+4(6インチ/秒)、2P用紙+7(2インチ/秒)時。

*10 プリンターの消費電力を抑えるモードです。一定時間以上、印刷動作やスイッチ操作が行われなかった場合、自動的に省電力モードに入ります。

*11 64ビットバージョンに対応しています。

項目	MultiCoder	
	502L3D-98	502L3DL-98
対応ソフトウェア ^{*12}	リモートパネル ^{*13} LabelStar Lite ^{*13} BarStar Pro ^{*13} <サポートバーコード> JAN/EAN/UPC Add On、ITF(Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5 (Industrial 2 of 5)、Matrix 2 of 5、NEC 2 of 5 (COOP 2 of 5)、 Code11、Code39、Code39 full ASCII、Codabar (NW-7)、Code93、 Code128、GS1-128 (UCC/EAN-128)、GS1 Databar (RSS)、BC412、 MSI/Plessey、カスタマバーコード、PostNet <サポート2次元コード> Code49、PDF417、Micro PDF417、QR Code (モデル1&2)、 Micro QR Code、DataMatrix、MaxiCode、AztecCode、 GS1 Composite (EAN.UCC Composite) PrinterSignalStation for ラベルプリンタ プリンタドライバー一括設定ツール ^{*13}	

*12 MultiCoder SDK は添付されておりません。

*13 64 ビットバージョンでは 32 ビットモードで動作します。

清掃

サーマルヘッドを清掃する

本プリンターのサーマルヘッドは専用品を使用しています。清掃は標準品と同様に、ヘッドクリーナーでサーマルヘッドの発熱部の汚れを拭きとり、静電気の起きない乾いた布で乾拭きしてください。サーマルヘッドに汚れや紙粉などが付着すると複写感熱用紙印刷時に印刷抜けが発生する場合がありますので、用紙セット時にサーマルヘッドの清掃を行ってください。また、粉塵等の異物が入るような場所で使用しないでください。本体やサーマルヘッドの破損の原因となるおそれがあります。

プラテンローラを清掃する

プラテンローラに汚れや紙粉がついた場合は、印刷精度に影響する場合がありますので、用紙セット時に乾いた柔らかい布で汚れや紙粉を拭き取ってください。

(MultiCoder 502Lシリーズ ラベルプリンター ユーザーズマニュアルの3章「日常の保守」を参照)

マニュアルを紛失された場合について

ユーザーズマニュアルを紛失されたときは、下記のURLよりダウンロードすることができます。

NECコーポレートサイト (MultiCoderシリーズホームページ)

<http://www.nec.co.jp/products/label/>

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 6100-3-2 適合品です。JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造された製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会(社団法人日本電子工業振興協会)のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下ガイドラインに基づく表示)

海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕様のため海外でご使用になる場合、N E Cの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがある場合、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

電気通信事業法について

LANインターフェースでネットワークへ接続される場合、電気通信事業法で定められた電気通信業者の通信設備（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。